

コミュニティ ムス

私と人とまちの間に

2018.MAR
116号

3

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

イマドキのマンション事情

- 2 “ファミリー”から“大人”のマンションへ
- 4 イマドキのマンション事情
- 5 “人のつながり”こそ究極の防災／そのまちに…ICT
- 6 私たち、マンション派宣言！ ママ’S マンショントーク

- 8 ご近所まんが
くざつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～
- 9 より道こ道 草津川跡地公園「de愛ひろば」
- 10 事業団からのお知らせ
- 11 見つけてスッキリ！／ボイス
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第28回 ニホンジン、ニホンジン！

春よこい、早くこい。

ロクハ公園のはらっぱ工作で松ぼっくりでひなかざりを作る男の子。つくるの大好き。そばでママとまだ赤ちゃんの女の子ができあがりを見守っています。お兄ちゃんがつくってくれた春。気に入ってくれるかな。

春雷。春の訪れを告げるもののひとつに雷があります。なかでも初めて鳴るそれを「初雷・始雷」ともいって、冬に眠っていた虫たちを起こすと。雷がひと鳴りすればようやく冬も終わり、のどかな春がやってきました。さあ、こわばった体を伸ばして春を探しに出かけましょう。

2018.MAR
116号

3

ここ草津もずいぶんマンションが増えました。国勢調査によると、世帯が暮らす住居の半分、なんと3人に一人がマンション・アパート暮らしです。学生さんやファミリー層だけでなく、最近「老後はマンションで」と戸建て住宅から移り住む人も少なくないとか。どうしてマンションなのか？これからどうなるのか？今回は「コミュニティ」の視点も気になしながら、「イマドキのマンション事情」について聞いてみます。

FEATURE

“ファミリー”から“大人”のマンションへ

ファミリーハイツ草津町内会長 大木康至さん(69歳)



夕方5時。童謡「たき火」の鐘の音色が、草津駅の西口一帯に鳴り響きます。そろそろ夕飯時、公園や空き地で遊ぶ子どもたちも家に帰る時間です。ここはファミリーハイツ草津。3棟からなるこのマンションには約440世帯、1150人が暮らします。

マンションで町内会をつくる

築約20年。子どもたちも巣立ち始めました。「もちろん高齢化は進んでいます。駅にも近くて生活には便利だから、若い家族の出入りも頻繁にありますよ。つい5〜6年前までは40代が最も多い層でした。今、60歳以上は約170人。それでも高齢化のペースは他のマンションに比べて遅いほうかな」と大木さん。

大木さんが入居したのは6年前。他市の戸建て住宅から家族で移り住みました。車は運転し

ますが、これから高齢になるにつれ不便なことが増えることを考えると、徒歩で日常の用をほぼ済ませることができるところでの暮らしを気に入っています。

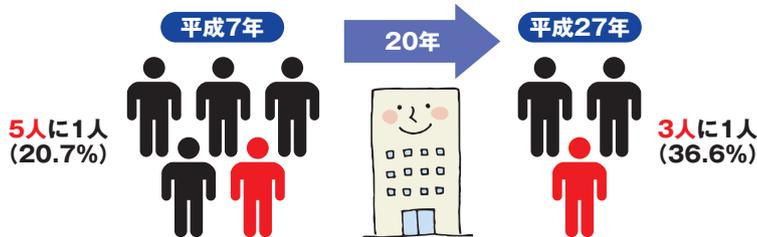
今、大木さんはマンション単独で組織する町内会の会長です。「当初は地元の町内会に入っていました。その後、マンション単独で活動していこうということで、マンション単独の町内会ができた」と聞いています。今から17年前のことです。町内会として学区の自治連合会にも入り、地元の行事や神社の神事にも連携しながら参加しています。町内会



ノート note ①

増える！草津のマンション ～草津市のマンション状況～

草津のマンションに暮らす人の割合 (住宅に住む一般世帯人員のうち共同住宅に住む人の割合)

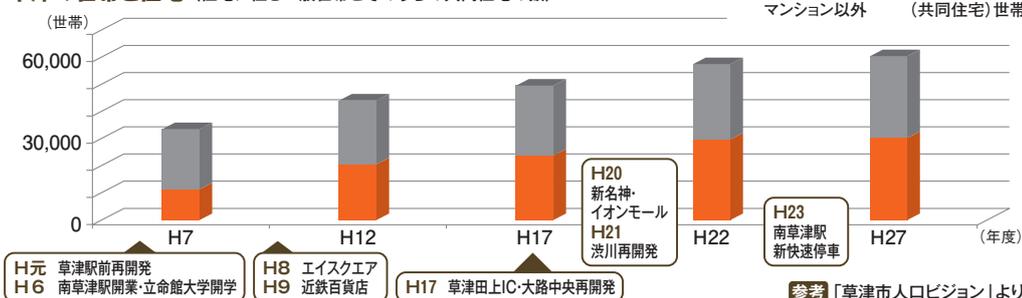


国勢調査のデータより発行者が独自にまとめ、イメージ化したものです。

マンションは「共同住宅」の数字を用いました。このため、実際のマンション数や住民数とは必ずしも一致しませんのでご了承ください。

出展 総務省統計局 政府統計の総合窓口e-Stat 「国勢調査」より <https://www.e-stat.go.jp/>

草津の世帯と住宅 (住宅に住む一般世帯とそのうちの共同住宅の数)



だけでなく、老人会や子ども会もマンション単独であります。子どもは減りましたね。ピーク時は200人近くいた小学生も今は50人です。」

大人が楽しむクリスマス

それでもファミリーハイソ草津町内会は元気です。夏まつりやクリスマス会、もちつき大会など住民同士が顔を合わせ行事を活性化しながら、今日も「コミュニティを育てています。」

子どもは減り、大人は徐々に歳を重ねつつあるマンション。これまでの町内会行事には、子どもや高齢者を対象にした行事はいろいろありますが、マンションの中心世代である40〜60代を対象にした行事が少ないことが気がかりでした。そこで昨年、「大人のためのクリスマス会」を町内会で開いてみました。思いきって「今回は大人だけね」と子どもの参加を止めにしたのです。

「はたして、住民は受け入れてくれるのか」。そんな不安も吹き飛ばし、なんと70名の参加がありました。集会所で食事とお酒、そして生バンドの演奏です。バンド演奏は好評で、集まった年代層に合わせ、また逢う日まで

♪異邦人♪秋桜といった昭和歌謡やオールディーズのナンバーで「大人の時間」を楽しんだのでした。

サイクルシェア

分譲時、若いファミリー世帯が中心だったこのマンションでは、どの家庭でも通学や幼児保育園の送り迎えなどに使う自転車があつて、駐輪場が足りないくらいでした。子どもが大きくなると、自転車を使うことも極端に減ります。「自転車はもう使わないけど、なければいけないやっぱり不便。」そんな家庭が増えてきたのです。

そこで、マンションの管理組合で自転車を購入し、住民なら自由に乗りこなすことができるサイクルシェアを始めたのが約10年前。今では土日だと15台の自転車がすべて出払っていることもあるとか。「利用は5時間までというルールです。チャイム乗りの感覚ですね。私なんかは自転車に乗るのが好きだからよく利用しますよ。図書館に行ったり、お米やお酒などの買物があるときなんかは重宝しています。」

変えること、変えないこと

自転車の貸出場所でもある管理事務所。たくさんのモニターがある部屋を抜けるとパソコンが置かれた2つの机が並んでいます。町内会と管理組合の事務を行うためのものです。

「特に分譲マンションは、建物が年を経るごとに、住民も歳を重ねていきます。町内会であれ、管理組合であれ、住民の今の暮らしぶりにいかに合わせていくか、どのように合意形成していくか、が難しいところなんです。そのために町内会と管理組合は常に協力しながら良好な関係を保つよう気を配っています。町内会の中でも『参加者が少ない行

事を減らしては」という議論もあります。でも、住民同士の親睦を楽しみにしているという声を聞くと、なかなかね。少数の意見も大切にしていきたいです。」

町内会長になって2年。大木さんの目下の悩みは次の役員の担い手だとか。

「やっぱり仕事をしている世代は忙しく、なかなか時間が取れなかつたり関心が薄かつたりで難しいところですね。積極的に町内会活動に関わる人が限定的なのはどこも同じかもしれませぬ。高齢化に向かう今こそ、顔を合わせコミュニティが大切な意味をもってくるんだと、思います。」



イメージ▲



大木康至さん

同じ建物を多くの住民で共有するマンション。防災・防災であり、大規模修繕や建て替えであり、住民同士の様々な合意形成をする場面がでてきます。互いの利害を調整し、円滑に合意形成していくためにも、日々のコミュニケーションがいかにかに大切な土壌となるのか、そんなことを感じました。

そうそう、冒頭の鐘はメロディを演奏できるように複数の鐘が組み合わさった「カリヨン」というもの。ファミリーハイソのカリヨンが奏でる曲はなんと24曲、季節に合わせて変わるそうです。このカリヨンのように、住民一人ひとりがつながるマンション、素敵ですね。



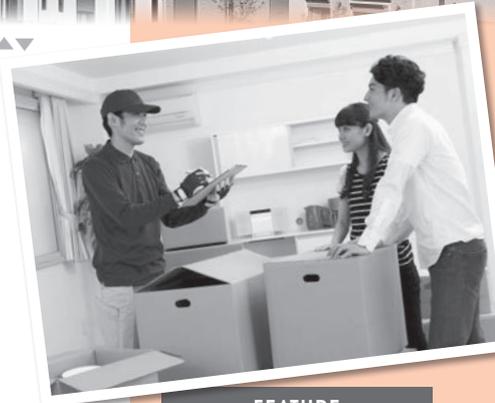
イメージ▲



イメージ▲▼

この20〜30年で

60年近く、草津で仕事をさせていたのですが、この20〜30年ですいぶん変わったと実感しています。南草津周辺は宅地開発が進みました。立命館大学の開学以降は学生向けのアパート、戸建て住宅やマンションが建ち、県外から移り住む人も増えています。草津駅の周辺も高層マンションが建設され、人口の増加が続いています。



FEATURE

便利さも一長一短

駅前には賃貸も分譲もどちらも多いです。賃貸は転勤が多い人や若いファミリー層が一軒家を建てるまでの家として借りる人が多いようです。分譲マンションを購入する人の中には、最後の住まいとして購入しておき、それまでは他の人に貸している人もいます。駅前はデパートやスーパーもあつて生活も便利。重い荷物に難儀する高齢者にも人気です。また、コンシェルジュなどがあるマンションでは、そこに暮らす高齢者の話し相手にもなっているというのを聞いたこともあります。

駅近だと車は必要なさそうなものですが、実はファミリー世帯の通勤先は車でないといけないところも多く、マイカーや営業車での通勤が朝夕の駅前渋滞の要因にもなっているみたいです。

イマドキのマンション事情

(株)くさつビル

市内のアパートやマンションの物件管理やメンテナンスを手がける(株)くさつビルの中島哲男さん・吉浩さん親子に、プロの眼から見た「イマドキのマンション事情」を聞きました。

そこに暮らす理由

住宅の立地ニーズでは、若いファミリー世帯なら学校や幼児保育園が近くにあることを条件に探す人が多いですね。また、単身者などの若い世代は朝早くの出勤や夜遅くの帰宅、夜勤があつたりして、コンビニが近くにあることも条件になります。24時間いつでも買い物ができ、ATMの利用や宅配便の受け取りなどができるのが、コンビニの魅力のようです。

高齢者は昼間の行動が多くなるので、デパートやスーパーなど日用品の買物が近くでできること、また趣味を楽しむため、図書館やコミュニティセンターなどの公共施設が「歩いていける距離」にあることも大切な要素のようです。

いかに「見守る」のか

最近、マンションやアパートで難しいのは、老老介護や孤独死など社会問題になってきている

二人暮らし、独り暮らしといった高齢者世帯の見守りです。プライバシーの問題など、越えなければならぬ壁はありますが、オーナーさんや私たち管理会社も建物の管理だけでなく、いかに住民さんを見守っていくか、みんながそれぞれの立場で考えるべき時代にきたと思っています。

セキュリティ会社との連携で、人が動いていれば感知せず、逆に動きがなければセキュリティ会社に連絡が入るシステムなんかもあります。でも、まずは住民さんとのコミュニケーション、そして地元の町内会や民生委員さん、ボランティア、行政や病院などの関係機関と連携を密に取る必要性をひしひしと感じています。

高齢社会を迎え、これからのマンション・アパート住まいがどのような暮らしぶりになっていくべきなのか、オーナーさんも、私たち管理会社も考えなくてはならないと思っています。



▲イメージ



中島哲男さん

中島吉浩さん



もし昼間に地震が起きたらどうしよう。私だけで子どもを守ることができるのか――。

たとえ、マンションが別でも、日ごろのつながりさえあれば助け合うことができるかもしれない、と活動しています。防災は日ごろの備えが大切ですが、私たちの考える究極の備えは「人のつながり」。町内会・年齢・住むところや趣味がちがっても「防災」だけは無関係な人はいません。積極的な人ばかりがつながるのではなく、元気をなくしていたり、人づきあいが苦手な人でも、「防災でつながる人間関係」だけは必要だと思います。それも日常生活の延長で、楽しく継続的につながることが必要。

子育て中なら子どもの年齢ごとにヨコのつながりがつくりやすいですが、年齢が少しちがう人とのタテのつながりは意外と難しいもの。そんな“タテつながり”をつくる仕組みの一つとして、LINEを使った「あげます・もらいます」グループを立ち上げました。子どもが大きくなって使わなくなった子育て用品のやりとりを実際に当人同士が顔を合わせて、モノを受け渡すことで互いの交流を図る。一見、防災とは関係ないようですが、いざという時に助け合う集まりのためにつくったしくみです。現在、ママを中心に60人の登録がありますが、まずは100人くらいには増やしたいですね。

マンション防災委員会

「つながろう・安心しよう・マンション防災」を合言葉に防災イベントでマンション住民同士のつながりと防災意識を高める活動を展開中。

(ひとまちキラリ助成採択団体)

ノート note ②

管理組合とマンションの町内会

管理組合

法にもとづき、区分所有者全員で構成される団体。共有財産である共用部分の維持管理を行います。建物や敷地、付属施設などハード面の維持管理を中心に行います。実際の管理は管理会社に委託する場合もあります。

マンションの町内会

居住者による任意の団体。共同居住の場であるマンション内の親睦行事や生活ルールの調整など、主にソフト面のコミュニティ運営を行います。実際には市内では次のパターンがよく見られます。

- 管理組合とは別にマンション内にマンション住民のみの町内会をつくる
- マンション独自では町内会をつくらず、地元の町内会にマンション住民が加入する
- 町内会を設けず、管理組合の中に親睦機能や生活ルールの調整を行う部門を設ける



※参考

コモンスからの都市再生

—地域共同管理と法の新たな役割—

(高村学人著・ミネルヴァ書房)

そのまちに… いと ICT



ICTがやってきた。

ずいぶん身近に、わかりやすくなったICT(情報通信技術)。今こそ、あなたのまちのコミュニティに活かすチャンスです。そんな事例を毎回ご紹介します。

災害時ICT サービス

電話やメールがつながらない。家族の安否がわからない。隣の家族に連絡をとりたい…。

いざ、というとき知りたいこと、知らせたいことの不安は誰にでもあるもの。今回はWebを使ったマンション向け災害時用ICTサービスをご紹介します。このサービスはマンション単位で登録(有料)すると、そのマンション住民であればネット環境の下で、いつでもどこでも利用することができます。平時はマンションの防災マニュアルや防災備蓄品のリストなどを閲覧共有。“いざ”非常時には災害モードに切り替わり、メッセージや掲示板など家族やマンション住民同士の情報を共有することができます。防災というと、備蓄など“モノの備え”が目が行きがちですが、“情報の備え”もしておきたいものです。

災害時ICTサービス(例)

- ・ゆいばた
- ・Mcloud管理組合支援サービス
- ・インフォコム危機管理ポータル



私たち、マンション派宣言! ママ'S マンショントーク

実際にマンションに暮らす若い世代の「イマドキ、マンション事情」はどうなのでしょう。南草津マンション防災委員会の呼びかけで、マンションに暮らす30~40代のママたちに集まってもらったのマンショントークです。

- 同じマンションには特に親しい友だちはいません。交流する場も機会もないですね。以前、戸建てにいた時は、マンションに住むと友だちが自然とできると思っていたんですが。
- マンションが建ってから数年後に入居。途中からだとながりはつくりにくかった。生協に入っていて声をかけてくれたお母さんがいて助かりました。
- マンションとして地元の町内会に入っています。子ども会の行事などは、うちのマンションの集会室でしています。マンション内だけでなく、外との交流もできています。

- うちマンション町内会もなく、地元の町内会にも入っていません。子どもが未就園児だと自分から積極的に探しに行かないと情報が入らない。つながりや情報を求めるお母さんの意識や住んでいるマンションの条件で、差が大きい。
- 子どもが小学校に入ると働きだすママも出てきて、つながりがなくなりました。そこで子ども会の役員になればつながりができるかと手を挙げてみたが、やりたい人も多く、高学年のお母さんから「順番だから」と言われてしまった。

不便や心配ごと

- マンションの駐車場が機械式。子どもができて初めて危なさを感じました。車に乗り込むときに、子どもを安全に待たせておく場所がない。幼い子どもに「じっと待っていなさい」と言っても難しく、もし事故が起きたらと考えるとこわい。また子どもを抱えて買った荷物を車から下ろす場所もない。購入時のチラシや平面図だけではわからなかったこと、子どもがいて初めて気づいたこと。駐車場は意外と落とし穴かも。
- 機械式駐車場には「運転手以外は入らないでください」って書いてるけど、小さな子がいれば、そんなのムリ。
- マンションを買うとき、営業の人が自走式駐車場であることをやたら強調していた。今になってわかる。
- 子どもが騒いでいると、ドタドタ足音が階下に響かないか心配。



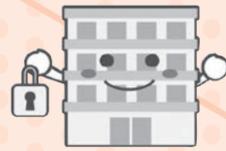
- 何かと便利な駅近がゆずれない条件でした。戸建てだとどうしても駅から遠くなってしまふ。



- 駅近のマンションをずっとネットで探してました。夫の通勤もあったが、実家の母に何かと手伝ってもらうことが多く、母が来やすい場所を選んだ。

- 私は車の運転をしないので最初から駅近を考えていました。新快速が停まるようになったのが南草津にした決め手。マンションとどこに暮らしている人の様子を見てから決めなかったんで、あえて中古マンションを探しました。

- テートの合間に特典に惹かれモデルルームを見学。まだ結婚さえ考えていなかったけど、二人でローンを組めば手の届く価格だったので即、契約。「買ったかった婚」です。駅前のマンションなら値崩れもなさそうだし、資産として持っていれば、将来、人に貸してもいいかなって。



- 一軒家だと鍵のかけ忘れなど戸締りが心配。セキュリティを考えてマンション。



- 以前は戸建てに住んでました。いずれ修繕や建て直しの時期がやって来るので、それならマンションにしよう。戸建ての時は冬が特に寒かった。マンションなら部屋が暖かいだろうし、友だちもできると思いました。

- 結婚するまでの実家は一軒家。草むしりや瓦の葺き替えなどメンテナンスが大変そう。家は広いけどトイレも遠かった。何でも手の届く範囲にあるマンションは暮らしやすい。

- もし引っ越すことがあればマンションは売れると思うけど、戸建てはどうかなあ。



- マンションだと戸さえ開けていけば子どもの様子が声や気配ですぐわかるんです。2階建てだと目が届かない。



- 子どもにアレルギー。備蓄の非常食が配られてもおそらく食べられないので、個人で備えています。

- うちのマンションはあまり備えてなさそう(?)なので、個人で備えています。

- 昼間に地震があったらどうしよう、っていつも思ってます。夫も実家の母も県外。保育園にいる子どもを下の子を抱えては迎えに行けないかもしれないし、ママ友に頼めるかどうか。やっぱり日ごろのつながりが大切。



江藤沙織さん



阿万久美さん



内海美奈子さん



井戸田聖子さん



野村早秋さん



大塚佐緒里さん



くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。



マンション

草津市も、ずいぶんとマンションが増えました。国勢調査によると、約20年前(平成7年)は5人に1人だったマンション暮らしの割合が、今(平成27年)では3人に1人。一般世帯の暮らす住居の半分がマンションとなっています*。最近では戸建て住宅から駅近で便利、防犯防災でも安心感のあるマンションに入居する高齢世帯もいるようです。

マンションには法に基づき、区分所有者による管理組合がつくられます。共有財産となる共用部分、主にハード面での維持管理を行います。それに対し、住民同士の親睦や生活ルールの調整などソフト面のコミュニティ運営を行なうのが町内会です。草津の多くのマンションの場合、①マンション単独で町内会を組織 ②地元町内会にマンション住民が加入 ③管理組合の中にコミュニティ運営部門を設ける、のパターンが多いようです。このお話では②のパターンでしょうか。

地元町内会にすれば「高齢化で役員や積極的な担い手がいない」「活動資金不足」「子どもが集まらずに盛り上がらない」といった悩みも多く、ぜひマンション住民の皆さんとも上手につきあっていきたいものです。そういう意味では、マンションと地元、お互いの資源と困りごとをすり合わせてみると、お話のような意外なマッチングも期待できそうです。たとえマンションとして町内会加入をしていなくても、地域のお祭りだけは別会計で連携して行なうなんてこともできるかも知れません。縁あって同じ地域に住む住民同士、震災など「いざ」というときには助け合う仲間です。日ごろから、なんとなく互いを知りあっておくだけでも大きな力になります。

これってやっぱり、みんなの問題。

*統計は国勢調査の「共同住宅」の数字を用いました。
このため、必ずしも実際のマンション数とは一致しません。



さく・com-com / え・まんじゅう

ひとりで悩まないで! まずはお電話を!
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津
くらし何でも相談
TEL:077-564-5512
住所: 草津市大路1丁目1-1 TEL:932 4F406

センターへの相談は無料です。

- > くらしサポートセンターしが TEL: 077-522-4600
- > くらしサポートセンターしが大津 TEL: 077-572-7720
- > くらしサポートセンターしが彦根 TEL: 0749-27-3500
- > くらしサポートセンターしが近江八幡 TEL: 0748-37-5522



株式会社 三井田商事

滋賀営業所としてJR南草津駅前に事務所を構え、京都府下及び滋賀県下でOA機器を販売し、自社でメンテナンスをしております。又、企業・一般の方への水の宅配事業も展開しております。弊社も地域と共に発展したいと考え、土曜出勤日には駅前及び会社周辺の清掃活動を実施しております。今後も地域に貢献し、共に成長していけるよう日々努力して参りたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津1丁目1-5
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

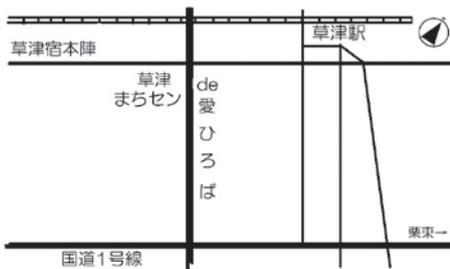


大階段を上がった「イベント広場」には
 風揚げや
 ボード遊び
 を楽しむ
 子どもたち。
 時代とともに
 に川は表情
 を変えまし
 たが、水のな
 い川床で駆

け回る子どもたちの姿は今も
 昔も同じです。向こう側の堤防
 になると琵琶湖方面に比叡
 山を望みます。歩道には中山
 道の「草津川の渡し」を渡る旅
 人が描かれた説明板。
 ふと春の桜と川の流れの対比
 が絶景だったことも思い出しま
 した。今はボランティアの方た
 ちがお世話をされているガーデ
 ンエリアの花々や、草津川を模
 した水の流れが心を和ませて
 くれます。足下のトンネルを電
 車が通過しました。そう、この
 旧草津川は天井川で知られま
 した。ちょうど商店街を真下に
 見下ろすと、東海道と中山道の
 分岐を示す道標が建っています。
 道標は今も道行く人を導いて



それぞれの時代を生き
 た人々に思いを馳せ、「de愛ひ
 ろば」を歩いてみるのも感慨深
 いものです。春の「宿場まつり」が
 今から楽しみですね。



いるようです。
 きれいに整備された歩道、こ
 こを国道に向かつて進みます。
 遊具があるあたりまで来ると、
 江戸時代の「名所図会」に描
 かれた三上山を望むことができ
 ます。東海道の「草津川の渡
 し」があったのはこの辺り。近く
 には「右東海道いせ道」の道標
 が建っています。



第12回 ● 草津川跡地公園「de愛ひろば」

石田はま子

読売新聞

街の安心、安全、
 教育、環境を
 応援していきます。

Y 草津五店会 TEL 077-568-2146

スマイ印刷は、
 自然環境を守る地球に優しい
 製品づくり「エコ印刷」に
 取り組んでいます。

SUMAI

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com
 本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
 東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
 甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045



助成団体 & 活動賞授賞団体が決まりました!

採択団体
決定!

まちづくり活動助成

立ち上げ支援部門

ヘアカットでコミュニケーション

CH北山 ヘアカット研修会 滋賀支部

障がいや高齢のため美容室に行けない家族を家でカットしてあげたい方に、安全で短時間でできるヘアカットの方法をプロが教えます。

伝統の美と笑顔を写そう

spring (スプリング)

障がいをもつ人にも着物を着る楽しみを味わってもらいます。ステキな着物を身にまとい、本人だけでなく家族の方も笑顔になってください。

- 活動の様子はHP
まちサポ <http://kusatsu-spp.net>
をご覧ください。



なごみの郷 17年間のありがとう

草津市コミュニティ事業団は平成13年から市および市民の皆さまよりお預かりしていました「なごみの郷」の運営管理を終えることになりました。

この17年間、「ここ草津で、高齢になっても健康長寿で豊かに歳を重ねてもらいたい」との思いで多様な世代が楽しくふれあう空間の提供に努めてきました。皆さまには愛情をもって

ご利用いただき、職員一同、感謝の気もちで一杯です。
ありがとうございました。

なお、「なごみの郷」は引き続きこの4月から「ひかりグループ」による新たな運営管理が始まります。

これまで同様にご利用いただきますようお願いいたします。



第1回 イキイキ活動賞

決定!

長年コツコツと継続いただいているまちづくり活動に「ありがとう」の気持ちを伝える「ひとまちキラリイキイキ活動賞」を今年創設。10団体の申請の中から次の3団体に決定しました。

- 老上ふれあい農業合校
- ひばりサロン
- 草津市精神障害者家族会ひまわりの会

受賞者には次の市内企業・事業所様からのご寄付により副賞(5万円)が授与されました。

(株)三井田商事/読売センター草津西
草津・栗東金融協議会/(株)スマイ印刷

- 問い合わせ ●
(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課
〒525-0037 草津市西大路町9-6
TEL 565-0477 FAX 562-9340
HP <http://kusatsu-spp.net>

広告掲載募集

本誌への広告掲載を希望する団体または企業を募集します。ただし企業の場合は本誌の趣旨を理解した上で、物品やサービスの販売でなく、企業の地域貢献や社会貢献の周知に限ります。

- 1回1枠(名刺サイズ)5,000円

コミュニティくさつ

- 約59,500部発行(年4回)
- 市内全戸配布のほか、市内公共施設や銀行等に配架

- 申込み・問合せ ● (公財)草津市コミュニティ事業団 TEL 565-0477

滋賀企業ネットワーク協同組合 BUSINESS COOPERATIVE OF SHIGA since 1997

空家・空店舗の無料相談受付中!



滋賀企業ネットワーク協同組合は不動産を通して地域密着で街づくりを行う非営利団体です。

平成9年に不動産賃貸管理の組合として発足し、今年で21年目を迎えました。

滋賀県草津市草津3丁目7-8
TEL/077-567-3454 FAX/077-563-3355
mail/mail@sg-kigyonet.com

見つけろ! ズギリ!

春、ロクハ公園のハナモモがピンクの花を咲かせました。このハナモモは震災を機に市内のNPOと交流を始めた福島県伊達市から贈られたもの。

今では両市で友好交流協定が結ばれ、さらに交流が深まっています。

下のイラストには上のイラストとちがう部分が5か所あります。ちがう部分を答えてね。



イラスト：大村恵（編集ボランティア）

応募方法

ハガキに①クイズの答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。

FAX、メールでのご応募もお待ちしております。

〆切 **3月31日(土)** 当日消印有効

宛先 〒525-0037 草津市西大路町9番6号
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくさつ3月号」係

✉ com-com@mx.biwa.ne.jp ☎ 562-9340

プレゼント

応募いただいた中から「道の駅草津 ロックベイガーデン」の「朝採り摘みたてイチゴパフェと飲み物セット」のチケット(1000円相当)を5名様にプレゼント。

春の恵みをご賞味あれ。



▲イメージ

前回の 答え



たくさんのご応募ありがとうございました。

※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することはありません。

ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

捨てられない、思い出のもの

50年、登りぐつ
橋高し屋敷も谷川集
伊達も昔は心はよ
チノ友の心!!

なごみの郷

アミカホール

学生時代の
手書きの楽譜

若い時の(30代)
気に入った
スカート

クレアホール

友達の
ポルカ

ロクハ公園

新幹線
初代の乗車券が
き来たこと

まちセン

卓球の
ケット
95%

ロクハ荘

熊谷栄三郎の 徒然草津 つれづれくさつ

第28回
ニホンジン、
ニホンジン！
熊谷栄三郎



この前、国鉄草津駅から汽車に乗った時のこと。あ、言い間違えた。国鉄やなしにJR、汽車やなしに電車、と言わなあかん。歳のせいやろか、昔の言い癖が直らん。

車両のドアのそばに、欧米人であろう男の客が立っていた。背が高く紅毛で、とにかく目立つ人。列車は南草津、石山…と進む。

ふと、気がついた。高校、大学生や通勤の客たちがこの外国人にあまり注目しないことである。ちら、と目を向ける者はいるが、それだけ。昔は違ったな、と思った。国鉄とか汽車とか言っているところは、違った。外国人の顔を穴が開くほど、見続ける人が多かった。正直、私もそうだった。五百年前、京都を訪れた西洋人がどんな目にあつたか、宣教師フロイスが残した記録に書かれている。子供らは叫びつつ西洋人の後をつけ、大人らもぐるぐる回って観察し、驚いたり大笑いしたり、したという。ま、五十年前の汽車の中もそ

れに近かつたようにさえ思う。で、思い出した。そのころ聞いて今も記憶に残っているこんな話。

小学生のタカシ君が草津の町で一人の西洋人に会った。興奮したタカシ君は電柱の影に隠れて、その人物を指さし、思わず、「ガイコクジン、ガイコクジン！」と叫んだ。

と、そのガイコクジンはタカシ君を指さし、「ニホンジン、ニホンジン！」と叫び返してきたのだと。

以上はそのころ、タカシ君のお母さんから聞いた話だ。先日、念のためお母さんに確かめたら、彼女はすっかり忘れてはった。当のタカシ君は今ほりっぱな社会人だが、やっぱり忘れていたのではないか。

さて現代っ子らは、何に注目して街を歩いているか。それが分かれば現代が分かる。

小学生の登下校を見守るボランティアをしている知人の体験談。昨年、下校中の一人の男の子がこう聞いてきたのだという。「おっちゃんはフリンジャか？」

読者の声

たくさんのご意見ありがとうございます。

11/1号「まちぐらしさ、を探せ！」に寄せられた感想から

- 野路でサツマイモがとれるとは知らなかった。「野路いも復活プロジェクト」面白そうですね。私も買うことで協力したい。収穫祭などイベントができると良いですね。
- 野路いも復活うれしいです。前に農協のイベントでいただきました。全国的なブランドになるといいですね！
- 身近に住む人たちが映画作りをしていることにびっくり、感動しました。映画に限らず、色々なことにチャレンジして地域に貢献する人たちがいます。それが詳しく知ることができてよかったです。
- 矢倉地域の映画づくりに興味を持って読みました。皆さんの輝く顔に元気をもらいました。
- 地域文化を映画に残す活動を応援したいです。昔は文字や絵でしか残せなかったのに、今は映像で残せる時代。何十年、何百年後の人に見てほしいです。
- 矢倉地域文化継承プロジェクトの自主映画は完成したら、ぜひ見に行きたい。
- 新鮮な野菜が笠縫東まちづくりセンターで購入できることを知りませんでした。スーパーの野菜も高くてなかなか購入できません。ぜひ一度行ってみたいです。
- 地域で色々なことに挑戦されていることにびっくり。楽しく読み、勉強になりました。
- 徒然草津「笑ってくらい」がよかったです。いつも楽しみにしています。
- 方言をあまり聞かなくなってさみしいです。地域の個性だと思うので、方言が受け継がれるように世代間の交流がもっと活発になればと思います。



「コミュニティくさつ」は、 みんなで作る まちづくり情報誌です！

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえ市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回程度)で意見をしてくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身のサークルや団体メンバーに本誌を配布してくれる人



● 申込み・問合せ ●

(公財)草津市コミュニティ事業団
まちづくり振興課内
コミュニティくさつ編集部

草津市コミュニティ事業団ファンクラブ まち活マッチの会 会員募集!

草津市コミュニティ事業団が取り組む様々な公益活動に協力支援いただく事業団ファンクラブ「まち活マッチの会」の会員を募集しています。平成30年度の会員登録受付は4月(予定)からです。みなさんの応援・ご協力をお待ちしています!



LINE@「まち活マッチの会」でも、お友だち登録お待ちしております(無料)。友だち登録いただいた方には、事業団が管理・運営する各施設のイベント情報やお得情報をお届けします。



LINE@アカウント



問合せ 企画総務課

TEL 565-0404 FAX 565-1221

HP community@kusatsu.or.jp

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市費、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

